

湯田中駅前温泉楓の湯[日帰り温泉]

楓の湯（かえでのゆ）は湯田中（ゆだなか）駅からすぐの場所にある公共温泉施設で、銭湯と呼ばれる公衆浴場の代表例ともいえる場所だ。大半の家庭に風呂が設置される前の時代、公衆浴場は小都市でも大都会でもよく見かけた設備であり、今でも日本文化の1つとして大切に愛されている。

楓の湯には男女別の内湯と露天風呂がそれぞれ1つずつと、駅のホームに面した畳敷きの休憩所があるほか、外には観光客が疲れた足を浸けることができる無料の足湯もある。温泉の湧出量は毎分約100リットルで、その温度は摂氏91.7度に達するが、風呂の温度は42～43度に調整されている。これは、数分間は浸かっていられるくらいの埋められた温度でありながら、筋肉痛の緩和、血行促進、冷え性の改善にも十分効果がある温かさでもある。この天然温泉には塩化ナトリウムと硫酸ナトリウムが豊富に含まれており、どちらも切り傷や神経痛、慢性消化器病の改善に効果があると言われている。

2つある浴場のうちの1つは、ヒノキで作られた内湯と、滑らかで平らな安山岩で作られた露天風呂が特徴である。もう1つの浴場は、内湯が御影石で、露天風呂が鉄平石で作られている。誰もがどちらの浴場も楽しめるよう、男湯と女湯が月に一度入れ替えられるほか、毎月26日には、リンゴ、ラベンダー、桃の葉など香りの素材をお湯に浮かべた季節風呂をスタッフが用意してくれる。